

2021年度 シラバス原簿						タイトル	講義内容と事前事後学習内容	
科目名 英語名	総合科学特論「現代社会を知る」 General Science ~Concerning Modern Society~					1 週	ガイダンス	事前 2.5hr シラバスの内容を読んでおく。自分が千葉工業大学に入学しようと思った動機を振り返り、まとめておく。
	科目 担当者	小宮 一仁						事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
開講学期		時間数	単位	科目の区分	曜日時限	履修制限	2 週	日本の予算制度、財政の現状と課題
	事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。							
6・8学期	2	2	選択	木曜日4・5限 木曜日7・8限	特になし	3 週	税、社会保障の仕組み、現状と課題	事前 2.5hr 日本の社会保障制度の構造について調べて、まとめておく。
								事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
目的	【目的】 学生の知識・教養を高め、果敢にして実行力のある意志を培い、豊かなそして堅実な人格を陶冶するために、現代社会の仕組みを総合的に教授することを目的とする。					4 週	リーダーシップ論(1)	事前 2.5hr リーダーシップの概念について調べ、まとめておく。
	【授業概要】 120分を、①授業の紹介、②途中休憩を挟んで90分の講義、③約20分の討議。①と②の進行は、毎回小宮学事顧問が行う。③の講義は、学事顧問と特別教授が担当する。							事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
注意事項・ 学習アドバイス	※5・6限の講義あるいは7・8限の講義のいずれかひとつを履修してください。 ※対面式の授業を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況によってはそれ以外の形式の授業になる場合もあります。 ※この科目は寄付講座ですので、担当講師は千葉工業大学学事顧問及び千葉工業大学特別教授となります。講義に関するお問い合わせは、教務課に連絡して下さい。					5 週	リーダーシップ論(2)	事前 2.5hr 歴史で強いリーダーシップを持っていると感じる人物を選び、その業績をまとめておく。
								事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
到達目標	・自分が学んでいる専門分野と現代社会の動向を結びつけて考えることができる。 ・工学分野が現代社会と強い関係性にあることを理解し、その一例を説明することができる。					6 週	東アジア情勢と日本の政治の行方	事前 2.5hr マスメディアの役割について調べて、まとめておく。
								事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
評価基準	期末試験 0% 中間試験 0% 小テスト (0回) 0% 提出物 (7回) 100% プレゼン (0回) 0%					7 週	日本型イノベーションと世界(1)	事前 2.5hr 日本社会におけるイノベーションの事例を調べて、まとめておく。
	各講義担当者(7名の予定)が、講義内容に係るそれぞれ100点満点の理解度確認のための課題を出題する。複数の回で講義を行う講義担当者場合は、出題される課題は1回とは限らないが、各講義担当者の課題の合計得点は100点である。したがって、総得点(満点)は700点となる。課題の指示に従ってレポート等を提出し、全提出物の得点の合計点を6で除した得点が60点以上を合格とする。							事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
関連科目	なし					8 週	国際関係論の基礎を学ぶ(1)	事前 2.5hr 再生可能エネルギーは今後の主力電源と位置付けられており、カーボンニュートラルを実現する大きな柱となっている。特に、洋上風力発電は大規模化等による発電コストの低減も期待されており、日本において本格導入が始まった。我が国において今後大きな発展が予想されている洋上風力発電を軸に現代社会を考えてみたい。【講義担当:菊地身智雄特別教授(元国土交通省技監)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】
								事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
参考書・参考資料等	なし					9 週	国際関係論の基礎を学ぶ(2)	事前 2.5hr 今日日本が政治的、経済的、文化的にいかに国際社会と密接に結びついているかについて理解を深める。また、そもそも国家や国民とは何か、これらを根拠する国際法の基本原則は何かを理解し、我々が国際的ルールの下に生きていることを理解する。また、国際法の境界を日本と韓国との関係の中で検討し、学生とディスカッションする。このことにより、国際社会、国際法の基本を理解することを目指す。【講義担当:清水武則特別教授(元モンゴル国駐留特命全權大使)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】
								事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
						10 週	国際関係論の基礎を学ぶ(3)	事前 2.5hr 身近な事例を国際法の観点から検討し、問題点を探る。具体的には、①金正男のマレーシアの暗殺事件から外交特権、主権侵害など国際法の視点から問題点を検討する。②二つ目の事例は、日産のゴーン元会長のレバノン逃亡事件やフランスで発生した日本人女子留学生殺人事件の犯人とされる中国人のフランスへの引き渡しなどについて逃亡犯罪人引き渡しに関する国際法とその限界について学習する。学生は、逃亡犯罪人に関する国際ルールとその限界を理解することを目標とする。【講義担当:清水武則特別教授(元モンゴル国駐留特命全權大使)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】
								事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
						11 週	日本型イノベーションと世界(2)	事前 2.5hr 東アジアの国際関係について調べて、まとめておく。
								事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
						12 週	科学技術の変遷と国家	事前 2.0hr Alterコロナに科学技術が果たすべき役割を考え、まとめておく。
								事後 2.0hr 近代から現代に至る科学技術の変遷を教授し、新型コロナウイルス感染終息後の世界を見据えて、千葉工業大学の学生が何を学び、何を身に付けるべきかというところを、各界の意見を紹介しつつ、考察する。【講義担当:小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】